

Bio-intelligence for well-being(BIW)研究会のご紹介 1

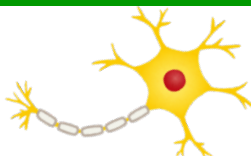
～生命科学と工学で、人生100年時代を“Well-being”に～

研究会の概要と特徴

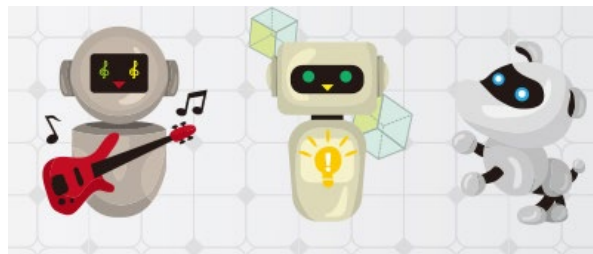
Bio-Intelligence(感覚を通じて脳が刺激を認識し体が反応する、一連の情報処理メカニズム「BI」)が体に及ぼす影響についての基礎研究と応用研究を融合した研究拠点です。近い未来において「Well-being(身体的・精神的・社会的に良好な状態)な社会」を実現するために役立つ、新たな技術開発を目指しています。

研究会の内容

ヒトを含む生物は環境の変化を感覚器で捉え、
神経活動を介して、それを認識し応答する



近年では、高齢化による退行性変化や
慢性疾患の予防・治療に対して、
感覚刺激の有効性が注目されている



脳機能を理解するための工学技術が開発されているもの
の、シグナルの解釈については一致した見解が得られて
いない



感覚すなわち**Bio-intelligence (BI)**に関する
基礎研究と応用研究を融合

well-being な社会を実現するために役立つ
新たな**技術開発**

研究分野

- ・ 感覚の認識メカニズムの解明
- ・ 感覚の認識メカニズムを解明するためのツール開発
- ・ 感覚刺激が惹起する生体応答の臨床的評価法開発

研究の期待成果

人生100年時代を豊かに彩る様々なイノベーションにつながる可能性があり、応用範囲は広い。

技術応用分野・企業との連携要望

医療機器メーカー、食品メーカーなど